

令和2年度西成区運営方針の取組み 及び今後に向けて

令和2年度第1回教育部会

令和2年8月5日



令和2年度 西成区運営方針

西成区の目標（何をめざすのか）

未来を担う子どもたちが健やかに育ち、だれもが笑顔にあふれ、安心安全に暮らすことができるまちの実現をめざす。

西成区の使命（どのような役割を担うのか）

地域住民等との連携・協働のもと、区長自らの権限・責任において、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。また、多様な区民の意見やニーズを把握し、区政への区民の参画など、地域と一体となって様々な施策を展開していく。

令和2年度 西成区運営の基本的な考え方（区長の方針）

西成区は、少子高齢化やあいりん地域などの様々な課題を抱えている。それらを解決するため「1 子どもに寄り添った支援と子育てしやすいと実感できるまち」「2 活気にあふれ、誰もが歩きたくなる楽しいまち、豊かに自分らしく健康に生活できるまち」「3 災害に強いまち、犯罪が起こりにくく、安心安全に暮らせるまち」「4 官と民が協働して取り組み、あいりん地域が抱える様々な課題を解決し、安心して暮らすことができるまち」に向けた施策や支援などを重点的に取り組んでいく。西成特区構想については、引き続き人的資源や地域資源を活かして、にぎわい創出と再チャレンジ可能なまちの実現をめざした取組みを推進する。さらに、子育て支援の充実や重大な児童虐待ゼロに向けて区の特性に応じ、一層の対策を進めていく。

また、区民にとって身近で親しみやすい区政運営を推進することにより、区民から信頼される区役所づくりをめざす。

なお、各経営課題における具体的取組については、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しながら進めていく。

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題	戦略	具体的取組【令和2年度】	区政会議 各部会	
子どもが育つ環境 の充実	子どもの「育ち」を支援	プレーパーク事業	教育部会	
		こども食堂支援事業		
		障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業		
	子どもの「学び」を支援	西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)		
		基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)		
		西成区こども生活・まなびサポート事業		
にぎわいとコミュニ ティが生まれるま ちづくり	地域資源を活かした新たなにぎわい づくりと活性化	地域密着型エリアリノベーションビジネス促進事業	西成特区構想部会	
		新今宮エリアブランド向上事業	西成特区構想部会 情報発信部会	
	地域活動の支援強化	西成区魅力発信事業	情報発信部会	
		地域コミュニティ支援事業 緑化推進事業		
	地域でのつながりづくり・福祉による まちづくり	西成版サービスハブ構築・運営事業	西成特区構想部会	
		西成区地域福祉計画推進事業		
		地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業 単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業		
	人権尊重のまちづくり	人権尊重のまちづくり	情報発信部会	
	防災・防犯・安全 対策	コミュニティ防災力の強化		地域防災活動事業－地区防災計画を活用した地域防災力の向上－
				地域防災活動事業－地域防災の担い手の発掘・育成－
防犯・安全対策の推進		防犯対策事業 自転車等安全利用啓発事業		
空家等対策の推進	空家等対策推進事業	西成特区構想部会		
あいりん地域対策	あいりん地域環境対策		不法投棄対策	
			迷惑駐輪対策	
あいりん地域を中心とした結核対策	あいりん地域を中心とした結核対策		結核患者の早期発見・早期治療	
		結核患者の支援の充実		

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

プレーパーク事業

30決算額

15,887千円

元予算額

18,036千円

2予算額

17,630千円

目標	目標値
プレーパークの一日あたりの利用者数	平均120人以上

今年度の取組内容

元来のプレーパークとしての「遊び場」だけではなく、子どもが課題を克服できる場として、学習支援を行う「学び場」、自己肯定感を高めることができる「たまり場」など3機能の形成を図り、それぞれの場が有機的に連携することで「生きる力」を育む子どもの居場所としてのプレーパーク事業を引き続き実施する。

- ・開催日：土日祝及び長期休み中の平日
- ・開催時間：10時～17時（冬季は10時～16時30分）
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により4月6日～6月13日まで休園

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

こども食堂支援事業

30決算額	3,123千円	元予算額	6,858千円	2予算額	4,958千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
こども食堂を区内で開設・運営	区内11小学校区に1ヶ所ずつ

今年度の取組内容

区内でこども食堂を開設・運営している団体等に対し、こども食堂の安定した運営や新規運営者が参入できるよう補助金により支援する。また、各団体間の情報共有やフードバンク等企業との連携を促進するネットワーク形成団体に対して運営費を補助し、開設の促進と運営の安定化を図る。

- ・開設補助:開設に必要な調理器具の経費を補助 1団体あたり150,000円(上限)
- ・運営補助:事業実施に必要な経費(賃料・光熱水費・広報関係費用等)を補助
1団体あたり300,000円(上限)
- ・ネットワーク化補助:ネットワーク化に必要な経費(人件費・消耗品費・広報関係費用・事務費等)を補助 1,500,000円(上限)

めざす成果及び戦略 子どもの「育ち」を支援

障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業

30決算額	— 円	元予算額	— 円	2予算額	8,079千円
-------	-----	------	-----	------	---------

目標	目標値
障がいがある子ども・親のうち課題を抱えている家庭で、関係機関につなぐべきかを検討	500人

今年度の取組内容

区役所と関わっていない可能性のある精神疾患や知的障がいがある子どもまたは親の全数について現状を把握するとともに、専門職員が迅速に対応することにより、親子が穏やかに生活できるよう適切な助言を行い、必要に応じて支援機関につなぐ。

精神疾患や知的障がいのある子どもの親に対する、子どもの特性を理解してもらうための連続講座や、障がいがある親がしんどい時に、親の負担軽減と子どもの見守りのための保育所等への送迎支援等も実施し、家庭に引きこもらないような取り組みを実施する。

- ・専門職員による家庭訪問
- ・言語聴覚士による専門相談
- ・保育所等への送迎支援
- ・助産師による専門的家庭訪問支援事業の対象を3ヶ月から1歳までに延長
- ・子育てが難しいと感じる親や発達障がいの子を育てる親を対象に連続講座を開催

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾)

30決算額	276千円	元予算額	218千円	2予算額	186千円
-------	-------	------	-------	------	-------

目標	目標値
参加者へのアンケートで、基礎学力の向上及び学習習慣の定着を図る項目について肯定的な意見	70%以上

今年度の取組内容

区内中学生を対象に、塾代助成事業が利用可能な事業者による課題授業を実施し、中学生の基礎学力アップと放課後の居場所づくりをめざす。

- ・実施場所・日時: 鶴見橋中学校(週2回 月・金 18:30~21:20)
たちばな会館(週2回 火・金 18:30~21:20)
玉出老人憩いの家(週2回 月・木 18:30~21:20)

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール)

30決算額	8,328千円	元予算額	8,332千円	2予算額	7,744千円
-------	---------	------	---------	------	---------

目標	目標値
授業の初回と最終回にテストを行い、点数が上昇する児童の割合	70%以上

今年度の取組内容

区内の小学校3・4年生を対象に、夏休みや平日の放課後及び土曜日の時間を利用し、学力の基礎となる国語・算数を中心に集中的な学習支援を行うことで、児童の学習意欲を高め、基礎学力の向上や学習習慣の定着をめざす。

・当初予定人数・時間:最大352名、年間45時間

めざす成果及び戦略 子どもの「学び」を支援

西成区こども生活・まなびサポート事業

30決算額	14,260千円	元予算額	27,806千円	2予算額	69,679千円
-------	----------	------	----------	------	----------

目標	目標値
学びの場への定着を目的とし、遅刻者数や不登校者数の改善	前年度より減少させる

今年度の取組内容

今年度から全区実施されている「こどもサポートネット事業」と連携し、「こどもサポートネット事業」によって決定される要支援者への支援方針に基づき、学校に配置されているこども生活・まなびサポーターが児童生徒の課題解決に向け、「電話や家庭訪問による登校支援」等の学びの場へ定着するための寄り添い支援を行う。

平成29・30年度は区内1中学校区、令和元年度は区内2中学校区でモデル実施しており、今年度より区内全小中学校に拡充して実施している。

・「こどもサポートネット事業」とは・・・すべての子どもたちの状況を把握した上で、必要な子どもたちを支援につなげていくことを目的とし、学校において、学校生活や家庭生活・家庭環境、経済的困窮等の課題を抱えた子ども及び子育て世帯を発見し、区役所（こどもサポートネット推進員・SSW）と連携して保健福祉の支援制度や地域資源の適切な支援につなぎ、社会全体で総合的に支援する事業